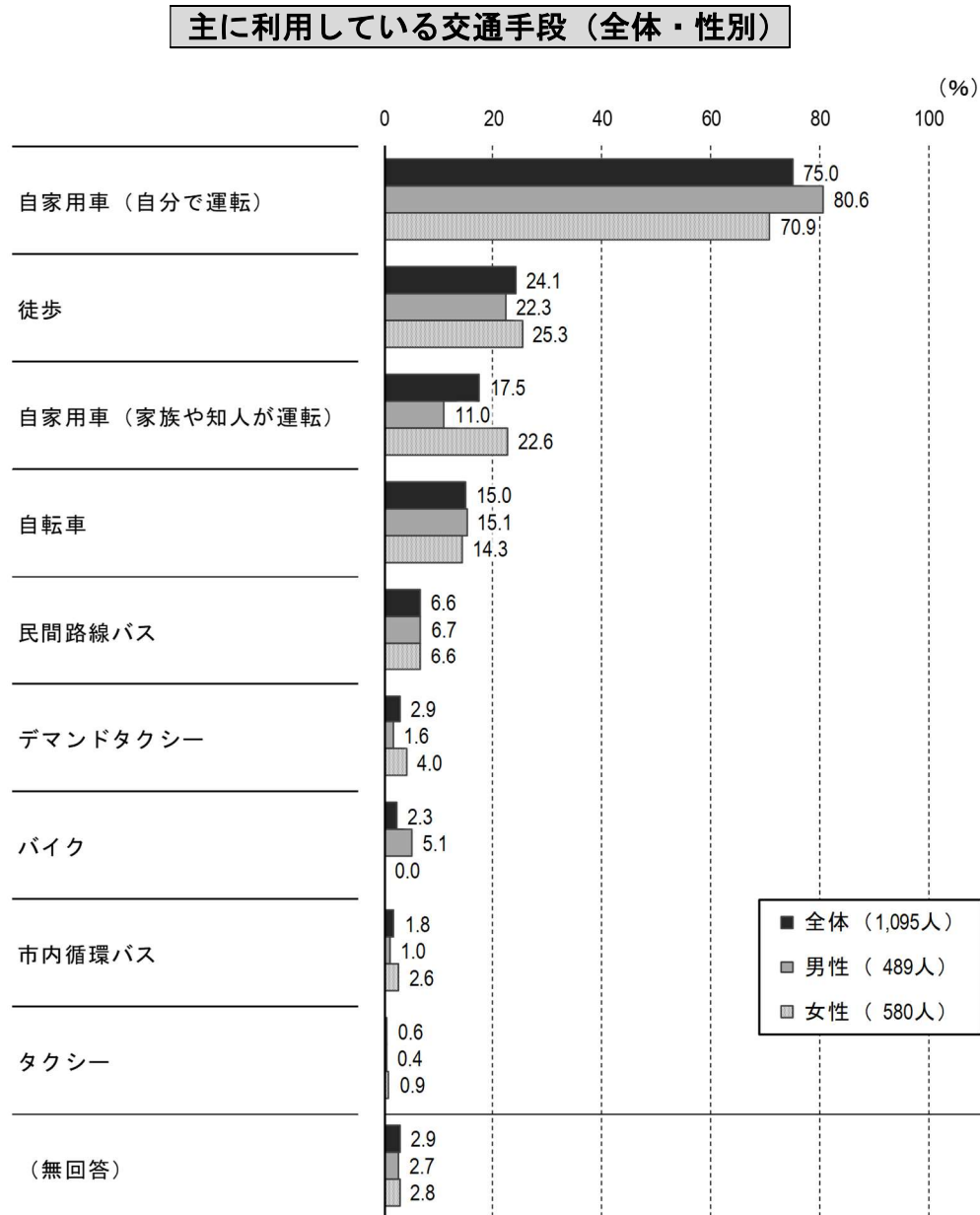


## 5 交通の分野について

### 5-1 主に利用している交通手段

問10. あなたが、日常生活の中で、主に利用している交通手段は何ですか。【○は2つまで】

「自家用車(自分で運転)」75.0%、「徒歩」24.1%



【全体】では、「自家用車（自分で運転）（75.0%）」の割合が7割台で最も高く、次いで「徒歩（24.1%）」、「自家用車（家族や知人が運転）（17.5%）」が続いています。

【性別】では、男性は「自家用車（自分で運転）（80.6%）」、「徒歩（22.3%）」、「自転車（15.1%）」の順に高く、女性の上位3項目は【全体】と変わらず、割合は70.9%、25.3%、22.6%となっています。

また、「自家用車（自分で運転）」は男性（80.6%）が女性（70.9%）より9.7ポイント、「自家用車（家族や知人が運転）」は女性（22.6%）が男性（11.0%）より11.6ポイント高く差がみられます。

主に利用している交通手段（地区別）



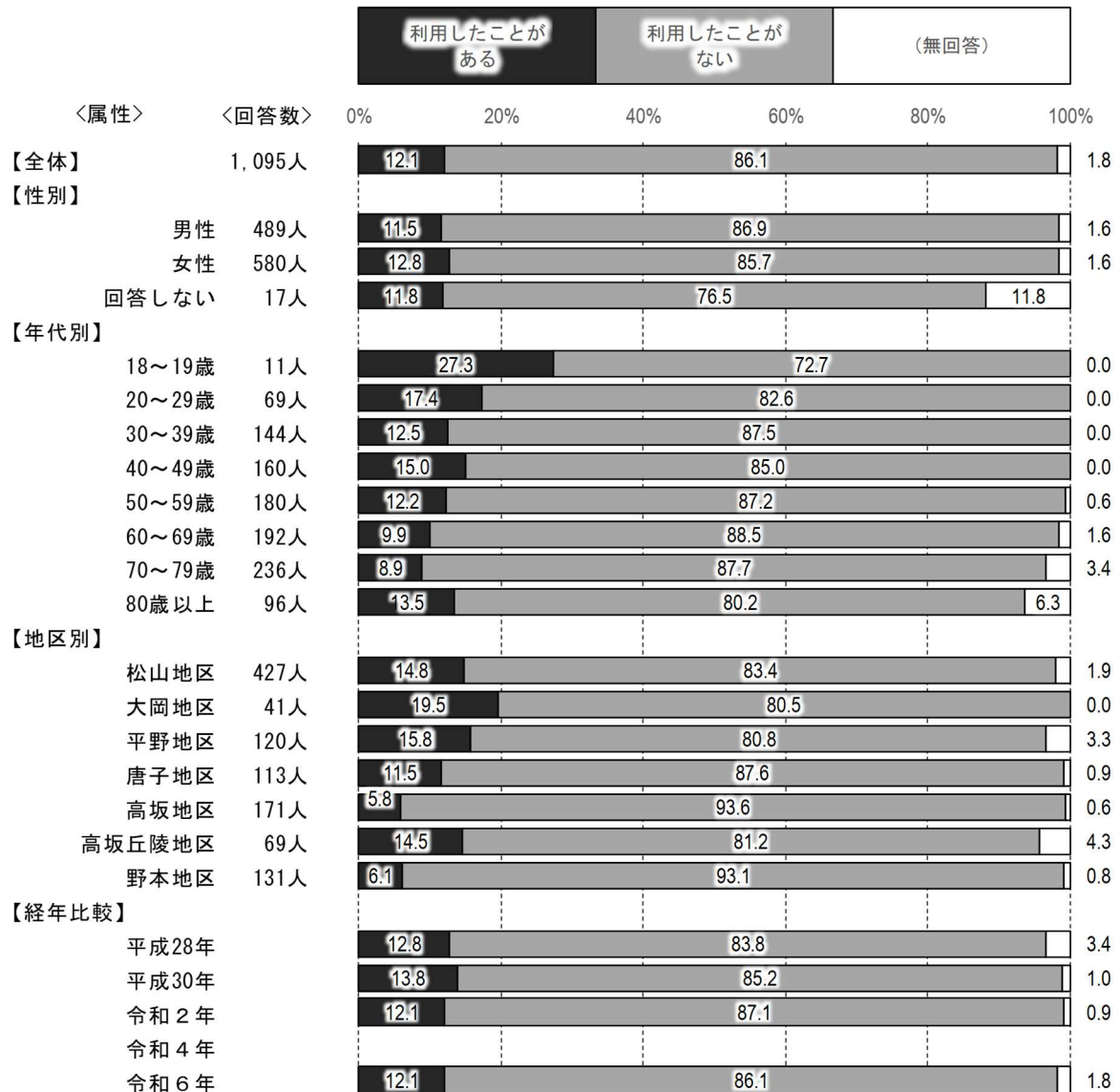
【地区別】では、「徒歩」の「松山地区（31.4%）」、「民間路線バス」の「高坂丘陵地区（20.3%）」、平野地区（15.8%）」、「市内循環バス」の「大岡地区（9.8%）」などが他の地区に比べ割合が高く、「自家用車（自分で運転）」の「松山地区（68.9%）」、「徒歩」の「大岡地区（4.9%）」、「自転車」の「平野地区（5.8%）」などが低くなっています。

## 5-2 市内循環バスの利用状況

問11. あなたは、市内循環バスを過去1年以内に利用したことがありますか。【○は1つ】

「利用したことがある」12.1%、「利用したことがない」86.1%

## 市内循環バスの利用状況



【全体】では、「利用したことがある（12.1%）」が1割台、「利用したことがない（86.1%）」は8割台となっています。

「利用したことがある」をみると、【性別】では、男女に差はみられません。【年代別】では、【年代別】では、「18～19歳（27.3%）、60～69歳（9.9%）、70～79歳（8.9%）」以外の年代は全て1割台です。また、「80歳以上」を除き、年代が上がるごとに割合が低下する傾向がみられます。【地区別】では、「大岡地区（19.5%）」が2割弱で最も高く、「野本地区（6.1%）、高坂地区（5.8%）」以外の地区は全て1割台です。【経年比較】では、直近4回の調査は全て1割台で大きな変化はみられません（令和4年は、東松山市地域公共交通計画で別途アンケートを実施）。

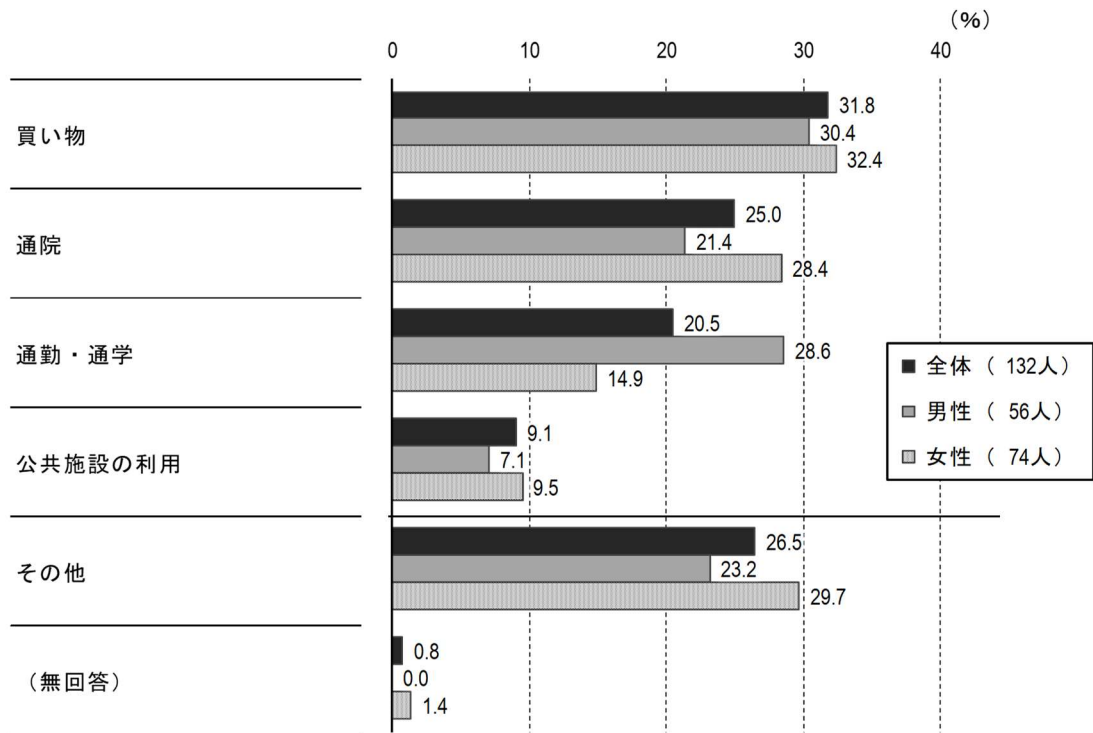
## 5-3 市内循環バスの利用目的

(問11で「利用したことがある」とお答えの方におたずねします。)

問11-1. どのようなことで利用しましたか。【〇はいくつでも】

「買い物」31.8%、「通院」25.0%、「通勤・通学」20.5%

市内循環バスの利用目的（全体・性別）

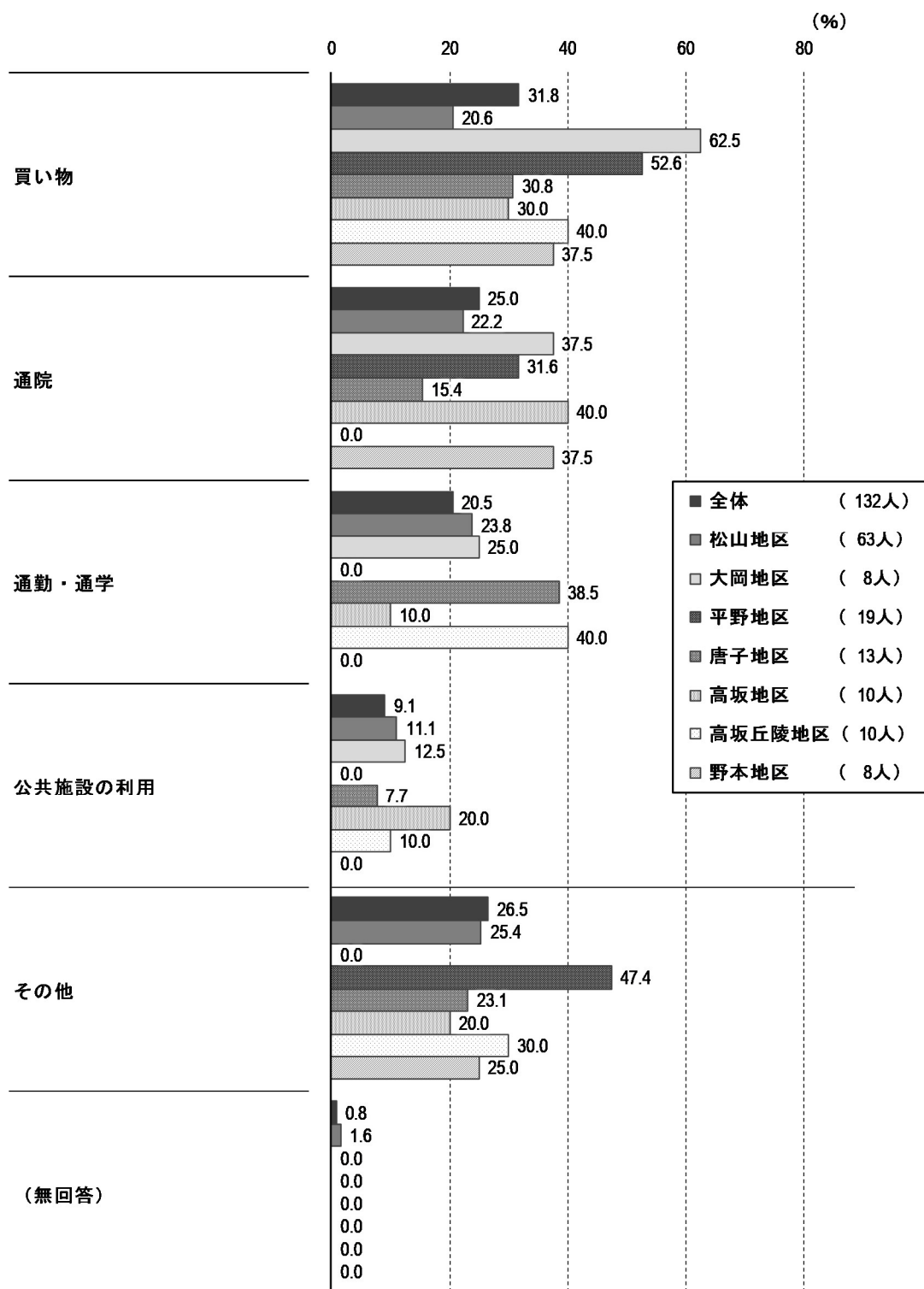


【全体】では、「買い物（31.8%）」が3割台で最も高く、次いで「通院（25.0%）、通勤・通学（20.5%）」が続いています。

【性別】では、男性は「買い物（30.4%）、通勤・通学（28.6%）、通院（21.4%）」の順に高く、女性の上位3項目は【全体】と変わらず、割合は32.4%、28.4%、14.9%となっています。

また、「通院」は女性（28.4%）が男性（21.4%）より7.0ポイント、「通勤・通学」は男性（28.6%）が女性（14.9%）より13.7ポイント高く差がみられます。

## 市内循環バスの利用目的（地区別）



回答数が少ない地区は参考結果となりますが、【地区別】では、「買い物」の「大岡地区(62.5%)」、平野地区(52.6%)、「通勤・通学」の「高坂丘陵地区(40.0%)」、唐子地区(38.5%)」などが他の地区に比べ割合が高くなっています。

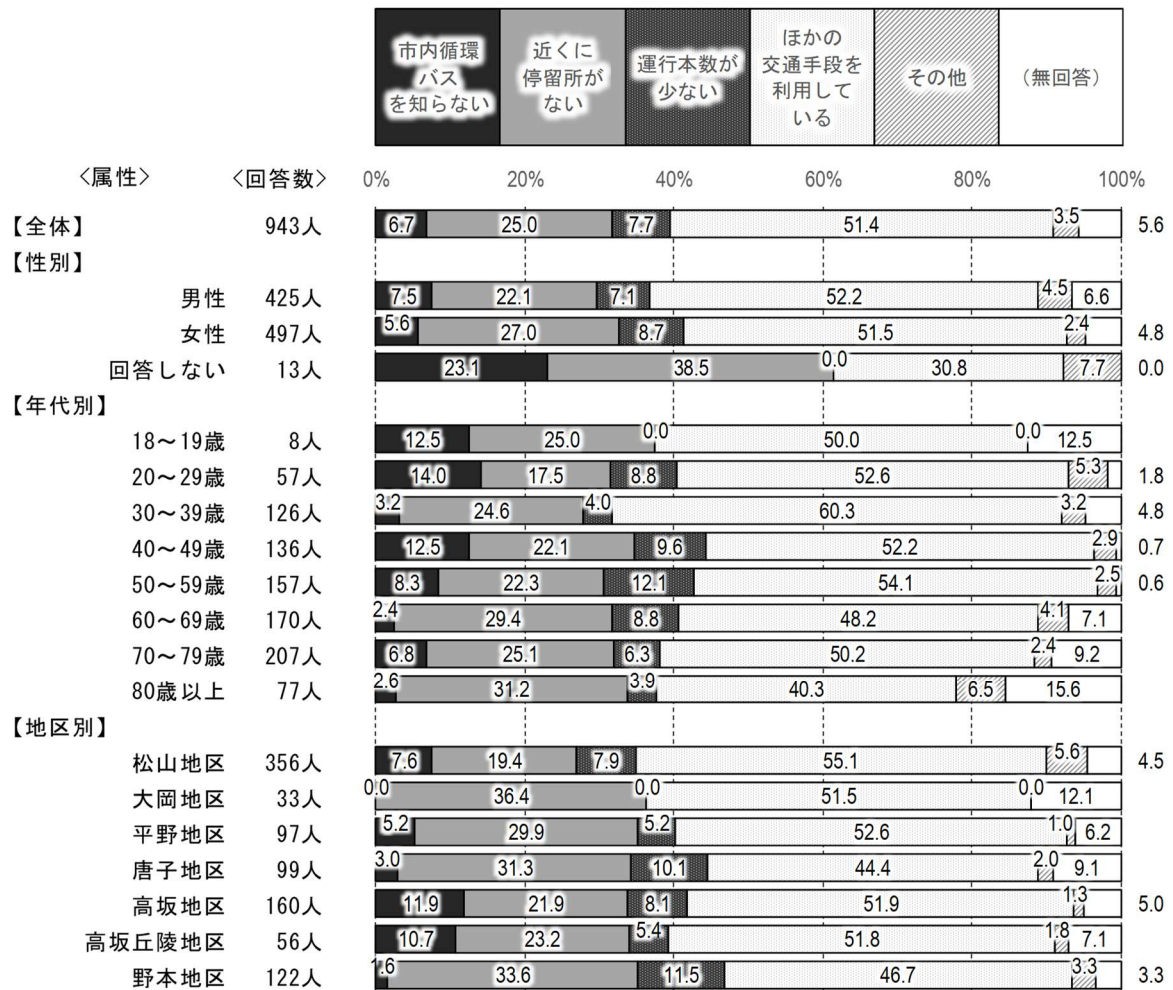
## 5-4 市内循環バスを利用しない理由

(問11で「利用したことがない」とお答えの方におたずねします。)

問11-2. 利用したことがないのはなぜですか。【〇は1つ】

「ほかの交通手段を利用している」51.4%、「近くに停留所がない」25.0%

## 市内循環バスを利用しない理由



【全体】での割合の高い項目は順に、「ほかの交通手段を利用している (51.4%)」が5割台、「近くに停留所がない (25.0%)」が2割台、「運行本数が少ない (7.7%)」、市内循環バスを知らない (6.7%)、その他 (3.5%)」が1割未満となっています。

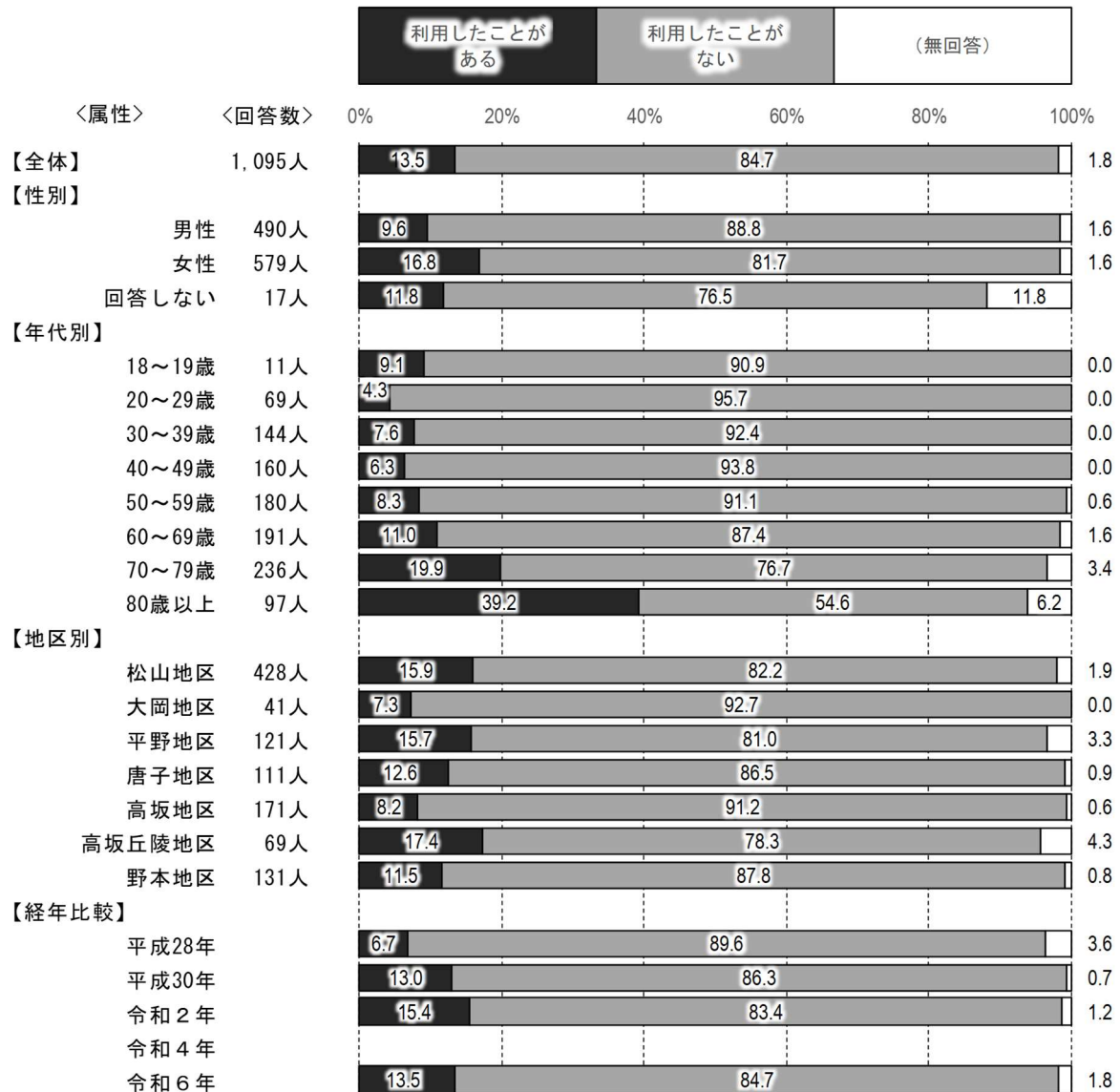
「市内循環バスを知らない」は【全体】では6.7%ですが、【地区別】でみると「高坂地区 (11.9%)、高坂丘陵地区 (10.7%)」で1割を超えています。また、「近くに停留所がない」は【全体】で25.0%ですが、【地区別】では「大岡地区 (36.4%)、野本地区 (33.6%)、唐子地区 (31.3%)」で3割を超えています。

## 5-5 デマンドタクシーの利用状況

問12. あなたは、デマンドタクシーを利用したことがありますか。【○は1つ】

「利用したことがある」13.5%、「利用したことがない」84.7%

## デマンドタクシーの利用状況



【全体】では、「利用したことがある（13.5%）」が1割台、「利用したことがない（84.7%）」は8割台となっています。

「利用したことがある」をみると、【性別】では、女性（16.8%）が男性（9.6%）より7.2ポイント高くなっています。【年代別】では、年代が上がるごとに割合が上昇する傾向がみられ、「70～79歳（19.9%）」で【全体】の割合を超え、「80歳以上（39.2%）」では4割弱となっています。【地区別】では、「高坂丘陵地区（17.4%）」、「松山地区（15.9%）」、「平野地区（15.7%）」が【全体】の割合を超え1割台、「高坂地区（8.2%）」、「大岡地区（7.3%）」は1割未満と低くなっています。【経年比較】では、「平成30年（13.0%）」に1割台になって以降大きな変化はみられません（令和4年は、東松山市地域公共交通計画で別途アンケートを実施）。

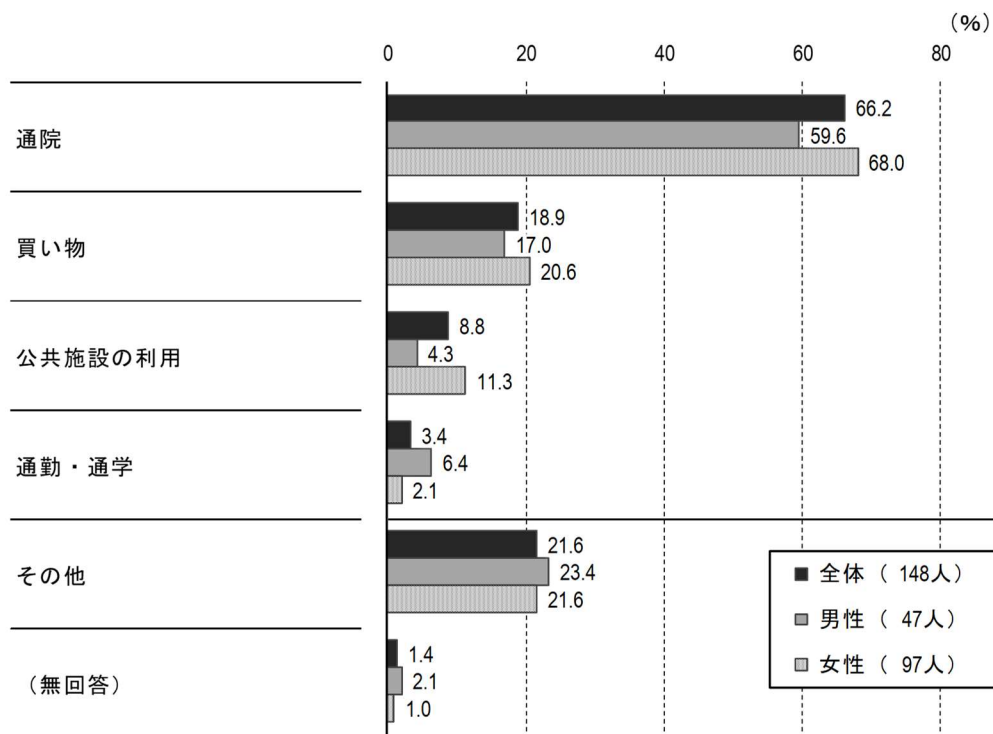
## 5-6 デマンドタクシーの利用目的

(問12で「利用したことがある」とお答えの方におたずねします。)

問12-1. どのようなことで利用しましたか。【〇はいくつでも】

「通院」66.2%、「買い物」18.9%

デマンドタクシーの利用目的（全体・性別）

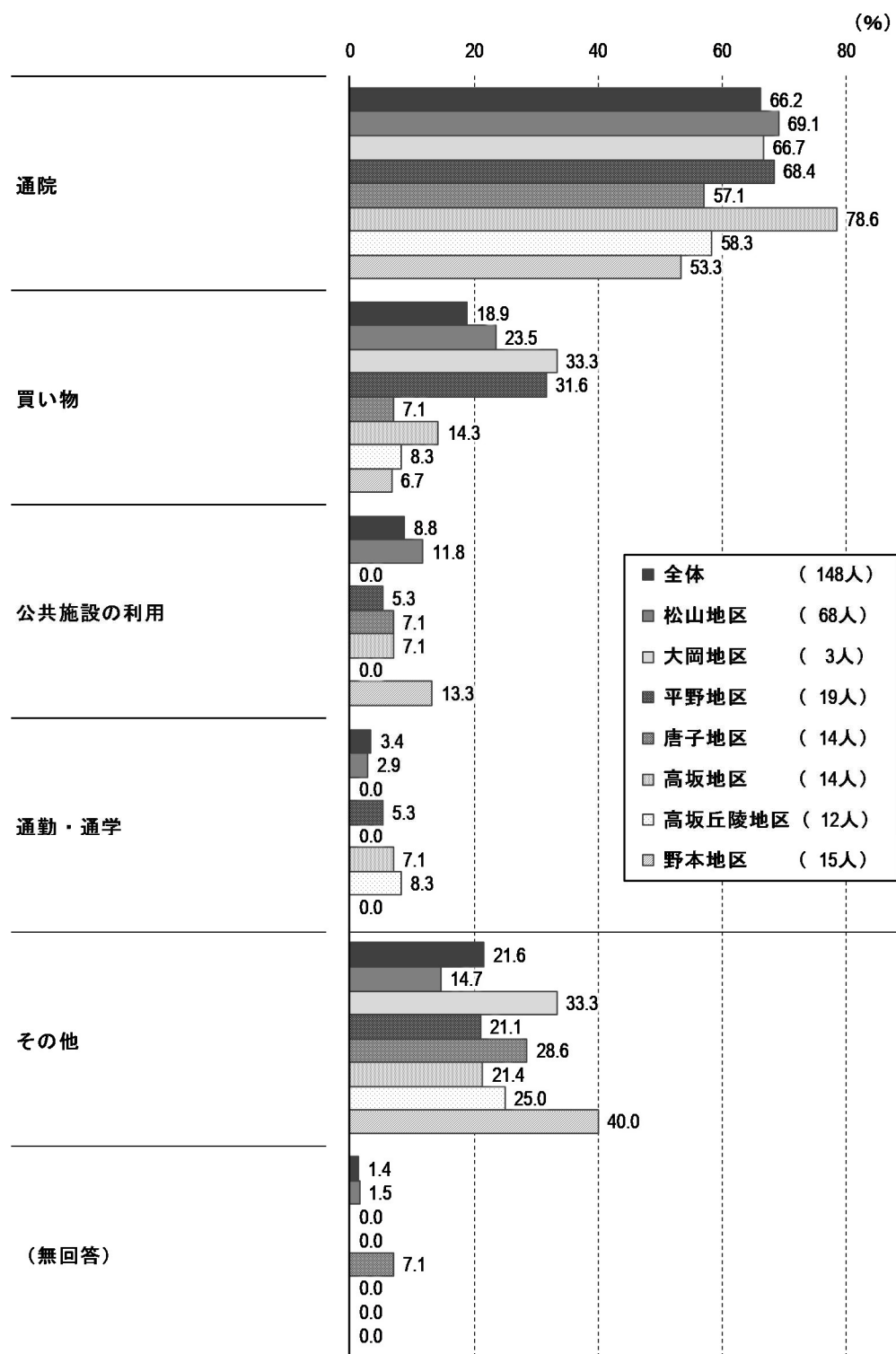


【全体】では、「通院（66.2%）」の割合が6割台で最も高く、次いで「買い物（18.9%）」、「公共施設の利用（8.8%）」が続いています。

【性別】では、男性は「通院（59.6%）」、「買い物（17.0%）」、「通勤・通学（6.4%）」の順に高く、女性の上位3項目は【全体】と変わらず、割合は68.0%、20.6%、11.3%となっています。

また、「通院」は女性（68.0%）が男性（59.6%）より8.4ポイント高く差がみられます。

## デマンドタクシーの利用目的（地区別）



回答数が少ない地区は参考結果となりますが、【地区別】では、「通院」の「高坂地区(78.6%)」、「買い物」の「大岡地区(33.3%)、平野地区(31.6%)」、「公共施設の利用」の「野本地区(13.3%)、松山地区 (11.8%)」などが他の地区に比べ割合が高くなっています。

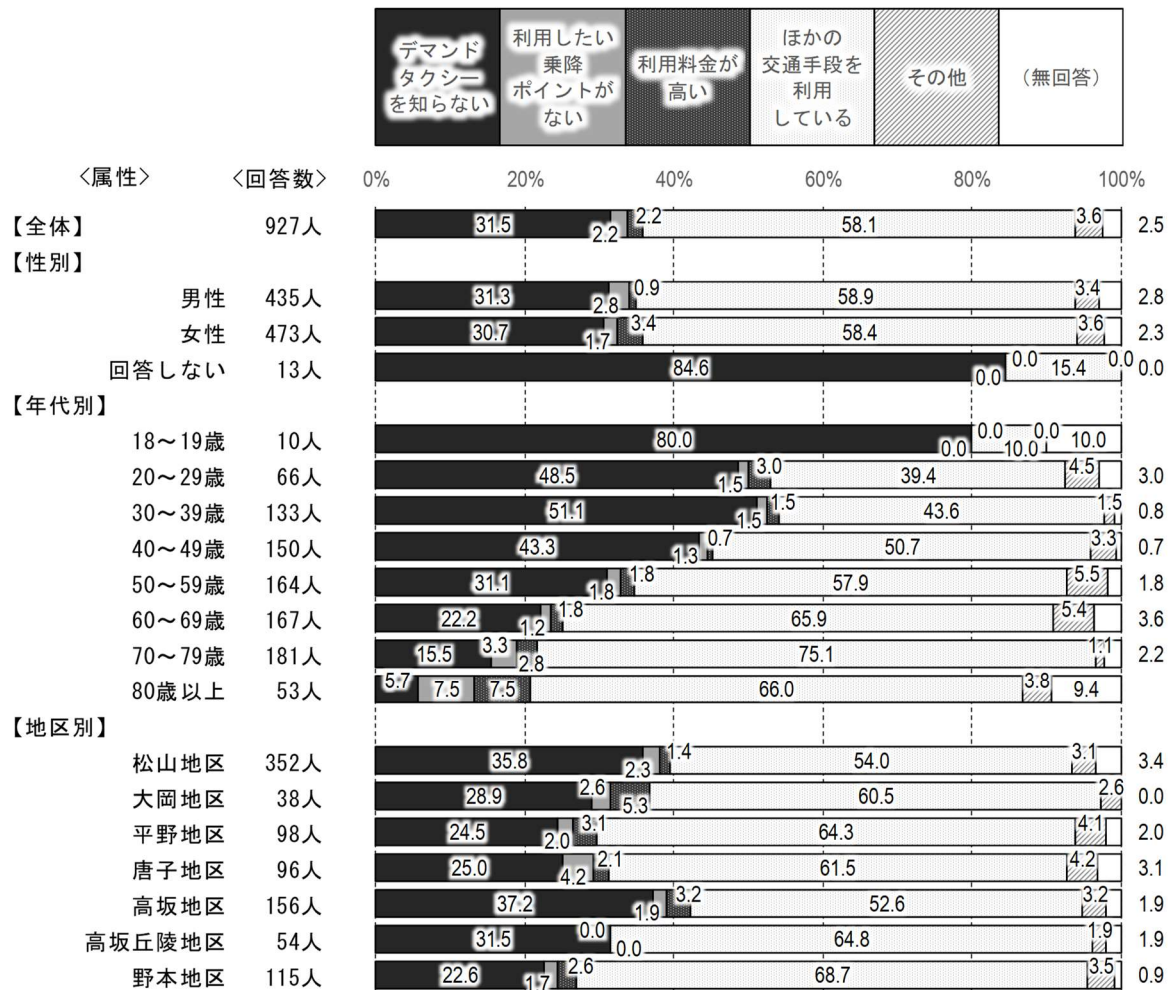
## 5-7 デマンドタクシーを利用しない理由

(問12で「利用したことがない」とお答えの方におたずねします。)

問12-2. 利用したことがないのはなぜですか。【○は1つ】

「ほかの交通手段を利用している」58.1%、「デマンドタクシーを知らない」31.5%

## デマンドタクシーを利用しない理由



【全体】での割合の高い項目は順に、「ほかの交通手段を利用している (58.1%)」が5割台、「デマンドタクシーを知らない (31.5%)」が3割台、「その他 (3.6%)、利用したい乗降ポイントがない (2.2%)、利用料金が低い (2.2%)」が1割未満となっています。

「デマンドタクシーを知らない」は【全体】では31.5%ですが、【年代別】でみると「18～19歳 (80.0%)」が8割で最も高く、年代が上がるごとに割合が低下する傾向がみられます。